

# 成田市環境基本計画の見直しについて

## I. 基本的方針

環境基本計画の中間見直しにあたっては、各施策の実施状況や市民の意向なども踏まえ各重点プロジェクト等について見直しを行う。本計画のなかに内包されている、成田市環境保全率先実行計画(区域施策編)について、ゼロカーボンシティ宣言などを踏まえ、特に重点的な見直しを行う。区域施策編については、別冊で具体的な取り組み等を示す計画書を作成し、この別冊の中で気候変動に対する適応策を示す地域気候変動適応計画についても併せて策定する。

### 成田市のゼロカーボンシティ宣言

令和2年11月25日に2050年まで二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明している。

### 気候変動対策 ～緩和策と適応策～

地球温暖化などの気候変動の対策には、その原因物質である温室効果ガス排出量を削減する(または植林などによって吸収量を増加させる)「緩和」と、気候変化に対して自然生態系や社会・経済システムを調整することにより気候変動の悪影響を軽減する(または気候変動の好影響を増長させる)「適応」の二本柱があります。

The infographic is divided into two main sections: '緩和' (Mitigation) on the left and '適応' (Adaptation) on the right, both under the heading '2つの気候変動対策' (Two Climate Change Countermeasures). A central globe icon is positioned between the two sections.

- 緩和 (Mitigation):** Labeled '原因を少なく' (Reduce causes). Examples include: 節電・省エネ (Energy saving), エコカーの普及 (Popularization of eco-cars), 再生可能エネルギーの活用 (Use of renewable energy), and 森林を増やす (Increase forests). A central goal is '温室効果ガスを減らす' (Reduce greenhouse gases), with a CO2 icon and a downward arrow.
- 適応 (Adaptation):** Labeled '影響に備える' (Prepare for impacts). Examples include: 感染症予防のため虫刺されに注意 (Pay attention to insect bites for infection prevention), 熱中症予防 (Heatstroke prevention), 災害に備える (Prepare for disasters), 水利用の工夫 (Water-saving techniques), and 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培 (Development and cultivation of crop varieties that grow in high temperatures).

Two text boxes at the bottom provide further context:

- Left box:** 気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること(緩和)が重要です。(To avoid the impact of climate change on human society and nature, it is important to reduce greenhouse gas emissions and suppress climate change as much as possible (mitigation).)
- Right box:** 緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと(適応)が重要です。(Even if mitigation is implemented to the maximum, for the impact of climate change that cannot be avoided, it is important to reduce damage and make life better (adaptation).)

気候変動適応とは？(出典:気候変動適応情報プラットフォーム)

## Ⅱ.環境基本計画本編の見直し部分

### SDGsに関する事項を追加、各重点プロジェクトと開発目標をリンクする

#### 第1章 成田市環境基本計画のあらまし

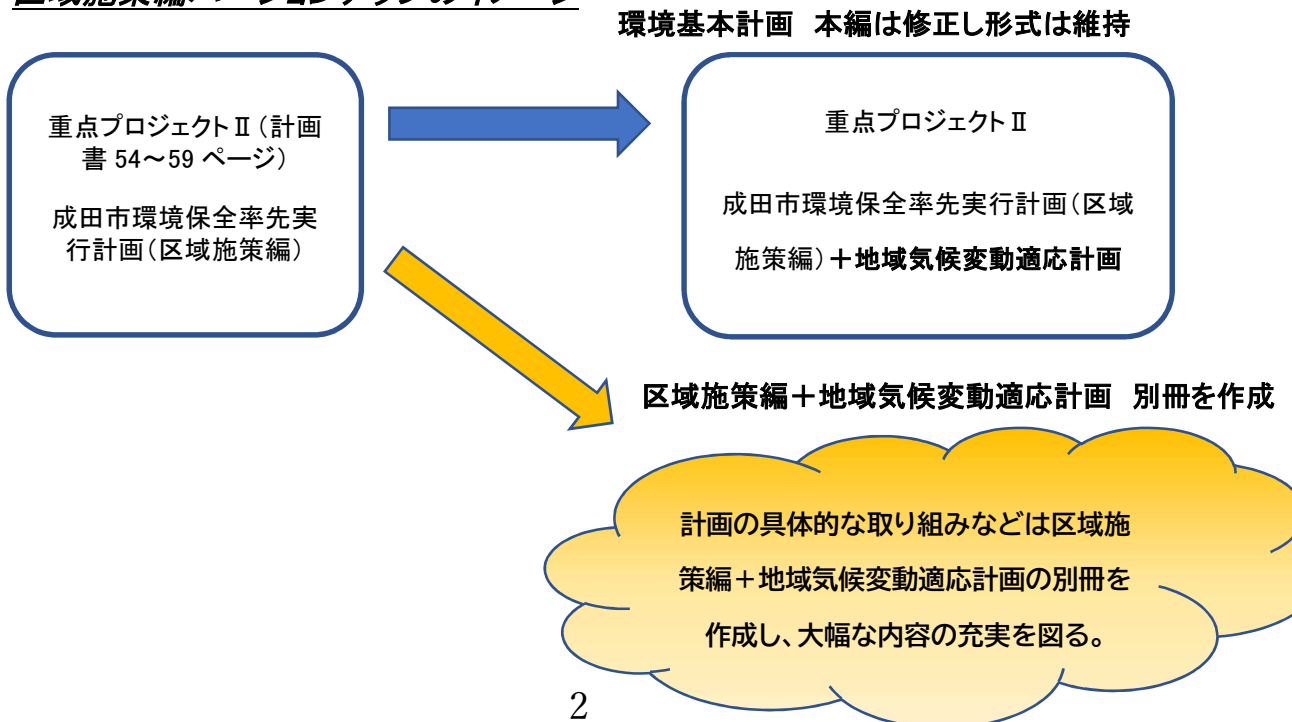
#### 6. SDGsとの関連(P4 と P5 の間に追加、解説等)



#### 重点プロジェクトⅡ エコライフによる低炭素なまちづくり -成田市環境保全 率先実行計画(区域施策編)-



#### 区域施策編バージョンアップのイメージ



## 1 プロジェクトの目的と重点的取組

- ・P54「区域施策編」に加え「地域気候変動適応計画」としての位置付けを追記

## 2 プロジェクト推進目標・指標等

- ・P55「推進目標・指標等」の数値見直し
- ・P55「温室効果ガス排出量の削減目標、基準年と目標年」の見直し

## 3 市の重点的取組

- ・P56～P57 見直しに基づいて修正の可能性

## 4 市民・事業者の取組

- ・P58 見直しに基づいて修正の可能性

### 【参考】

- ・P59 は削除⇒区域施策編(別冊)で掲載

## 他の重点プロジェクトの見直しの検討

---

### 重点プロジェクトⅠ 生き物・里地里山のふれあいづくり



### 重点プロジェクトⅢ 3Rによる循環型まちづくり



### 重点プロジェクトⅣ 環境交流のまちづくり



### Ⅲ.成田市環境保全率先実行計画(区域施策編)骨子案

#### 第1章 計画の概要

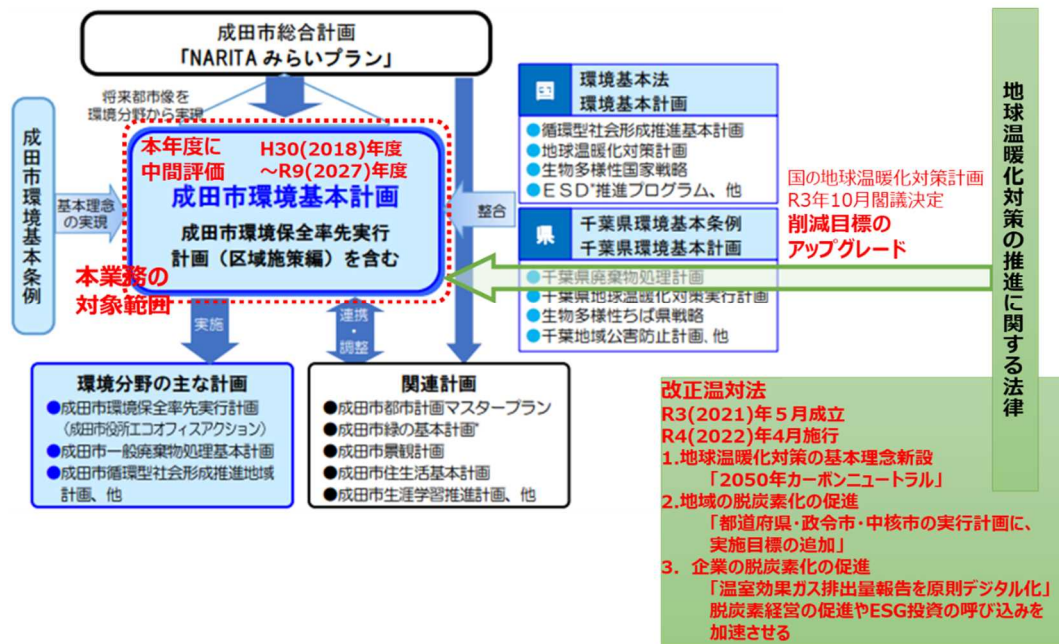
##### 1. 計画策定の趣旨

##### 2. 計画の位置付け

(区域施策編、気候変動適応計画、市の施策体系への位置づけ)

##### 3. 計画期間

- 上位・関連計画との関連、本業務における対象範囲と、指標改訂の重要な視点



#### 第2章 地球温暖化対策をめぐる動向

##### 1. 気候変動の影響

##### 2. 地球温暖化対策を巡る国際的な動向



気候変動枠組条約締約国会議(COP26)

(出典: エネ庁 HP あらためて振り返る、「COP26」(前編)～「COP」ってそもそもどんな会議?)

##### 3. 地球温暖化対策を巡る国内の動向

##### 4. 地球温暖化対策を巡る成田市のこれまでの動き

### 第3章 温室効果ガス排出量の推計

1. 対象とする温室効果ガス
  2. 温室効果ガス排出量の現況推計・要因分析
  3. 温室効果ガス排出量の将来推計・要因分析
- (1)BAUケース
- (2)対策ケース

### 第4章 温室効果ガス排出削減目標

1. 国の削減目標(2050年ゼロカーボン、2030年▲46%)

| 温室効果ガス排出量・吸収量<br>(単位：億t-CO <sub>2</sub> )     |         | 2013排出実績   | 2030排出量 | 削減率  | 従来目標                       |
|---|---------|--|---------|------|----------------------------|
|   |         | 14.08  | 7.60    | ▲46% | ▲26%                       |
| エネルギー起源CO <sub>2</sub>                        |         | 12.35  | 6.77    | ▲45% | ▲25%                       |
| 部門別   | 産業      | 4.63   | 2.89    | ▲38% | ▲7%                        |
|   | 業務その他   | 2.38   | 1.16    | ▲51% | ▲40%                       |
|   | 家庭      | 2.08   | 0.70    | ▲66% | ▲39%                       |
|   | 運輸      | 2.24   | 1.46    | ▲35% | ▲27%                       |
|   | エネルギー転換 | 1.06   | 0.56    | ▲47% | ▲27%                       |
| 非エネルギー起源CO <sub>2</sub> 、メタン、N <sub>2</sub> O |         | 1.34   | 1.15    | ▲14% | ▲8%                        |
| HFC等4ガス(フロン類)                                 |         | 0.39   | 0.22    | ▲44% | ▲25%                       |
| 吸収源   |         | -  | ▲0.48   | -    | (▲0.37億t-CO <sub>2</sub> ) |
| 二国間クレジット制度(JCM)                               |         | 官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO <sub>2</sub> 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。 |         |      | -                          |

#### 2. 成田市の削減目標

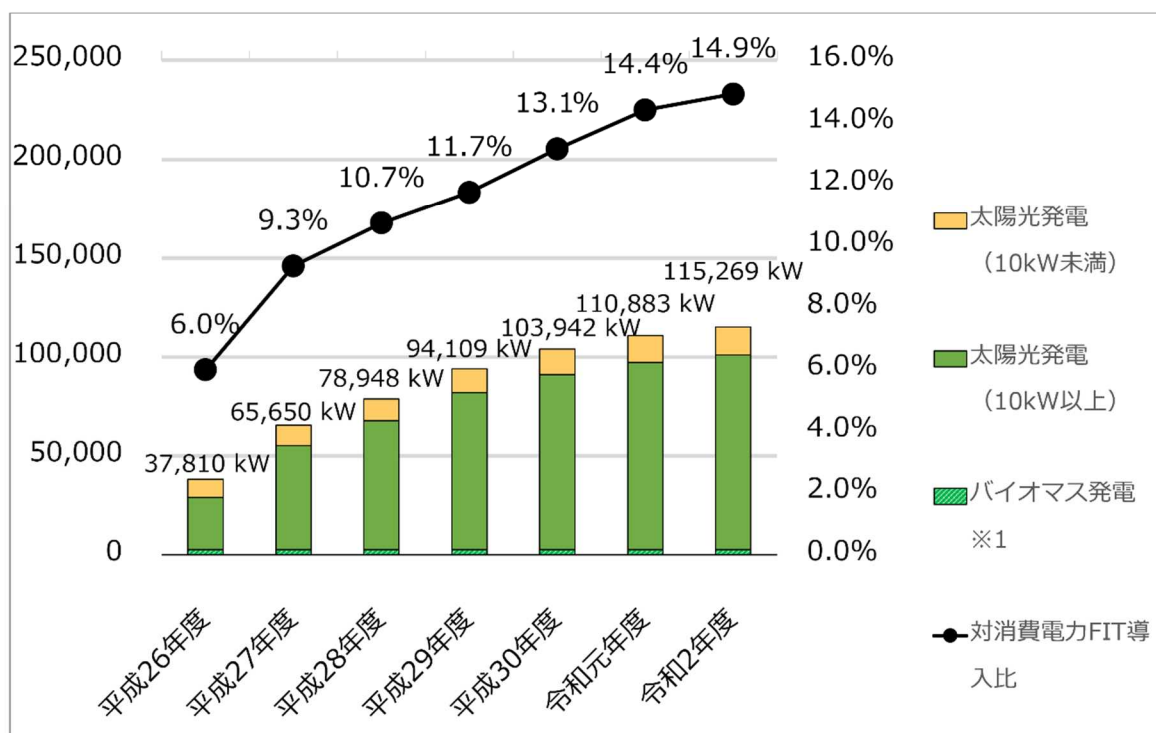
(現時点の方針)

2050年ゼロカーボンの目標設定を行う。2030年の中期目標については、国の目標や本市の将来推計や削減ポテンシャル、市民・事業者の意見などを総合的に踏まえながら設定する。

## 第5章 温室効果ガス排出削減等に関する方策(緩和策)

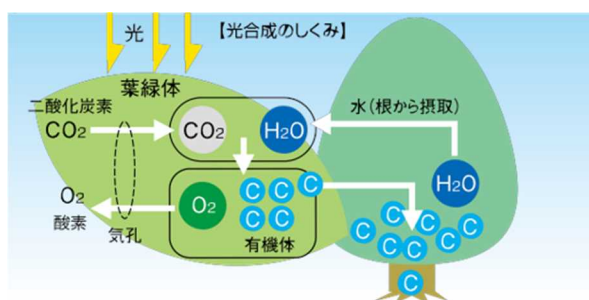
1. 再エネ種類別の導入ポテンシャル
2. 再エネ種類別の現在の導入状況

### 成田市の FITによる再エネ導入状況



固定価格買取制度(FIT)による現在の再エネ導入状況

### 3. 二酸化炭素吸収量(森林吸収量)



林野庁 HP (地球温暖化防止に向けて)

#### 4. 部門別の削減方策の検討

(1) 産業部門

(2) 民生部門(業務・家庭)

(3) 運輸部門

(4) 一般廃棄物部門

2. 成田市の再生可能エネルギー等の導入目標

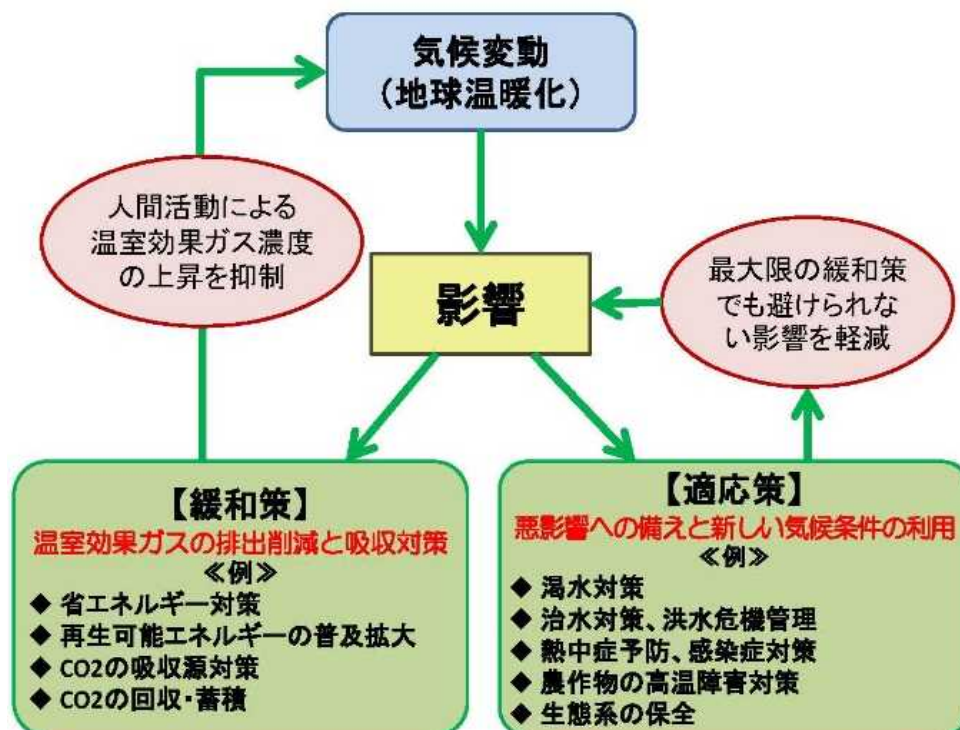
3. 成田市の温室効果ガス排出削減目標を達成するための脱炭素シナリオ

・具体的な取り組み、各部門における削減の指標を示す「脱炭素シナリオ」を作成

### 第6章 地域気候変動適応計画(適応策)

1. 計画概要(目的、位置付け、期間)

2. 適応策(緑化と水循環、気象災害、高温化への対策、生物環境、農業・事業等)



## 第7章 計画の推進・進行管理

1. 推進体制
2. 進行管理

### IV.計画見直しの進捗状況

#### 実施した取り組み

---

##### 大学生ワークショップ

---

6月11日に国際医療福祉大学生を対象にワークショップを実施。19名参加。



##### 小中学生アンケート

---

市内の市立小中学校に通う小学5年生、中学2年生を対象に6～7月に実施。タブレットを利用した電子回答方式。約1,900名からの回答を得た。

##### 市民・事業者環境意識アンケート調査

---

無作為抽出した16歳以上の市民2,000人、事業者400者を対象に環境意識についてのアンケート調査票を送付。7月末回答期限で実施中。

#### 今後の取り組み

---

##### 市民ワークショップ

---

9～10月にかけて2日間に分け、全4回開催予定。対象者については、市民環境意識調査の対象になった方から希望者を募る。

##### 素案の作成

---

9月中には素案の完成を目指し、次回11月開催予定の第2回環境審議会にて意見を照会する予定。